

愛知県後期高齢者医療広域連合議会 (8月16日 くれまつ順子議員)

## 保険料値上げで高齢者に負担を押しつけるな 後期高齢者医療広域連合議会(8月16日)で日本共産党が追及

8月16日に愛知県後期高齢者医療広域連合議会(議員34名。うち共産党はくれまつ順子名古屋市議と伊藤建治春日井市議、東義喜江南市議の3名)が行われ、2016年度決算認定案などを審議しました。くれまつ議員は、決算認定案への質疑や討論を行いました。

### 短期証の発行は名古屋市351件など811件

決算認定案について、くれまつ議員は短期保険者証についての実情をただし、対応について質問しました。当局は「今年3月現在で811件、多い順に名古屋市が351件、一宮市が60件、豊橋市が56件、豊田市が45件など。うち未渡しが157件。資格証は発行していない」などと

保険料軽減特例措置の対象者への短期保険証

均等割9割軽減対象者	77件
均等割8.5割軽減対象者	72件

短期保険証交付者の所得階層(2017年3月末)

旧ただし書き所得による所得区分	件数
0円	327
～58万円	122
～200万円	293
～400万円	49
600万円	10
600万円～	10
計	811

短期保険証交付状況(2017年3月末)

自治体	件数	前年比較	自治体	件数	前年比較
名古屋市	351(97)	△1(+7)	尾張旭市	5	+1(±0)
豊橋市	56	△7(±0)	岩倉市	10(3)	+6(+3)
岡崎市	42(7)	△3(±0)	豊明市	10(1)	△1(△2)
一宮市	60	+9(△2)	日進市	1	±0(±0)
瀬戸市	7	△2(△1)	田原市	17(3)	±0(+1)
半田市	15(5)	+4(+2)	愛西市	14(2)	△1(△2)
豊川市	24(5)	△5(+4)	北名古屋市	12(1)	+12(+1)
刈谷市	8	+2(△2)	弥富市	5(2)	+2(±0)
豊田市	45(11)	△11(△1)	みよし市	1	△1(△1)
安城市	28(5)	±0(+5)	あま市	17(1)	±0(+1)
西尾市	8	△4(△2)	東郷町	1	±0(±0)
蒲都市	13(3)	△3(△1)	大治町	3(2)	△2(△1)
小牧市	12(1)	△5(±0)	蟹江町	2	+2(±0)
稲沢市	5	△1(±0)	阿久比町	1	±0(±0)
新城市	11(3)	±0(+2)	美浜町	3	+1(±0)
東海市	3	+2(±0)	武豊町	3	△1(±0)
大府市	2	±0(±0)	幸田町	2	±0(±0)
知多市	9(3)	+6(+3)	合計	811(157)	△2(+14)
知立市	5(2)	△1(±0)	36市町村	+2市町村	

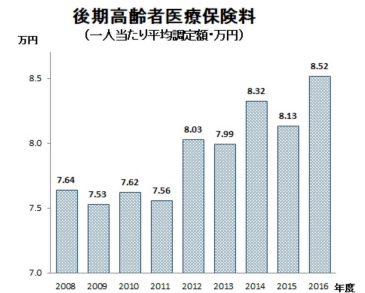
カッコの数字は、有効期間が経過し、未更新となっている件数

説明しました。くれまつ議員は、短期保険者証を発行されている世帯の所得階層などをただしながら、減免制度の活用など親切な対応をするよう求めました。



### 年齢で差別するような制度は廃止を

決算認定案の反対討論で、くれまつ議員は、制度発足以来値上げを繰り返し高齢者の負担増を押し付け、高齢者の生活をおびやかしている実態を明らかにし、後期高齢者医療制度は直ちに廃止し、国民を年齢で差別する仕組みの根をきっぱりと絶つことを求めました。



### 電算処理システムの誤りによる過誤徴収の対応

伊藤建治議員は制度開始以来の電算処理システムの不備によって生じた保険料の過誤徴収への対応などをたしました。「増額分は2年分、減額は発足時(2008年度)まで遡及する。増額となった被保険者は401名で総額708万円余の影響、一人当たりの影響額は1万7,668円です。保険料が減額となった被保険者は1,245名で総額2,973万円余の影響、一人当たりの影響額は2万3,883円」と答えました。

### 次回改定時の保険料値上げはやめよ

東義喜議員は2018・2019年度保険料の改定に当たって、剰余金や財政安定化基金を活用して保険料の値上げを行わないよう求めました。当局は「国の対応待ち」という姿勢でした。

### 請願は「不採択」

「保険料値上げ中止などを求める請願」の審査は、東議員が採択を求めて討論を行いました。不採択となりました。

